

《企業紹介》

同社はベトナムの商業銀行大手の一角を占める総合金融サービス企業である。人民解放軍傘下の企業に対する金融サービス提供を目的に1994年に設立された金融機関が前身である。この経緯から国防省関連企業との関係が深く、筆頭株主は国防省傘下のViettel（ベテル、ベトナム最大の移動体通信事業者、保有比率は2025年9月11日時点で19.0%）グループとなっている。Viettelグループとは資本関係を通してフィンテックなどの新しい金融サービスでの協業を積極的に進める方針である。

同社はグループ内に6つの専門的な金融サービス子会社を持ち、グループの総合金融サービスの競争力強化を図っている。MBアセットマネジメントは債権管理業務を通してグループ債権の厳格な管理に貢献し、不良債権比率の抑制に貢献している。このほかMBキャピタルマネジメントは資産運用業務を、MB証券は証券業を、MICは損害保険事業を、MBエイジライフは生命保険業を、MB新生ファイナンスは消費者金融業を、それぞれの市場で存在感を示しながら総合金融サービスを展開している。

《2026年1—3月期業績》

2026年1—3月期の営業収入は前年同期比15.7%増の17.7兆VND（ベトナムドン）だった。金利収入は同27.5%増の14.9兆VNDだった。貸出債権残高が同40.5%増の1,120兆VNDと大幅に増加したが、預貸利ザヤの悪化が進み、営業収入の伸びは貸出債権残高の増加ペースを下回った。預貸利ザヤの悪化は、資金調達コストの上昇を貸出金利に反映できない状況が続いているためとみられるが、この状況が競争要因だけではなく、景気配慮型の政策を堅持する政府の方針も影響しているようで、企業努力だけでは解決が困難な状況に陥っている可能性がある。手数料収入は金融サービスの好調が加速し、同38.3%増の1.7兆VNDとなった。一方、その他収入は、投資有価証券売却損益や外国為替売買損益が赤字に転じたことなどが影響し、同53.8%減の1.1兆VNDとなった。

営業費用が同10.1%増の4.3兆VNDと営業収入の伸びを下回る増加となったこと、貸倒引当金が同15.7%増の3.4兆VNDと営業収入の増加ペースとほぼ同等の伸びにとどまったことにより、税前利益は同14.8%増の9.6兆VND、純利益は同14.4%増の7.5兆VNDとなった。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2025年1-3月期		2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	15,322.7	27.5	17,245.7	22.1	15,596.7	22.8	17,821.2	7.6	17,728.3	15.7
(うち金利収入)	11,692.2	29.0	12,372.1	17.5	12,990.5	24.7	14,555.3	30.6	14,913.1	27.5
(うち手数料等収入)	1,235.4	30.7	1,915.5	41.4	1,326.6	49.4	2,101.2	78.0	1,708.7	38.3
(その他収入)	2,395.1	19.2	2,958.0	31.8	1,279.6	-8.5	1,164.7	-72.5	1,106.5	-53.8
営業費用	3,950.0	12.4	4,956.5	10.4	4,545.3	21.0	6,229.5	18.7	4,347.0	10.1
貸倒引当金	2,986.4	10.3	4,786.2	138.6	3,801.5	131.8	2,169.4	-32.7	3,454.8	15.7
税前利益	8,386.3	44.7	7,503.0	-1.7	7,249.9	-0.8	11,129.1	37.5	9,628.4	14.8
純利益	6,567.7	44.9	5,877.6	-2.5	5,571.0	-3.8	8,762.6	39.4	7,516.5	14.4
貸出債権(期末残高)	797,536.7	32.2	879,888.5	32.8	931,498.6	32.7	1,084,019.4	39.6	1,120,562.5	40.5
貸倒比率(%、%ポイント)	1.5	-0.3	2.2	1.0	1.6	0.7	0.8	-0.9	1.2	-0.3

注1 収入は全て費用を差し引いた純額で表示している

注2 営業収入は公表されている金利収支、外国為替収支、証券関連収支、その他収支の純額合計

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20250430

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

軍隊銀行(MBB)



《株価の動向》

同社の株価とVN指数を2025年末の終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価パフォーマンスは2026年の年初からVN指数をアウトパフォーマンスしていたが、4月中旬以降その差が縮小し、足元ではアンダーパフォーマンスに転じている。5月7日終値時点でVN指数が2025年末比7%の上昇となっているのに対し、同社の株価は3%の上昇となっている。また、5月7日終値26,100VNDで計算した時価総額は210.2兆VNDであり、2025年12月期実績の純利益26.7兆VNDに対して7.9倍となっている。

預貸利ザヤの改善期待は剥落し、貸出残高の増加のみが業績を牽引する状況となっている。貸出金利の上昇が限定的になっている要因は、景気配慮型の政策を堅持する政府の方針や貸出競争激化などが考えられる。一方、貸出残高の増加に預金残高の増加が追いつかず、資金の需給関係が逼迫し、資金調達コストの上昇は続いている。この状況に変化がない限り、当面は利ザヤの改善は見込めない状況が続くだろう。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20250430

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したのですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。